



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 住友ゴム工業株式会社

コード番号 5110 URL <http://www.srigroup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 育嗣

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 河野 隆志

TEL 078-265-3000

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	575,832	8.2	49,068	14.2	51,627	27.2	31,728	28.2
25年12月期第3四半期	531,986	6.4	42,964	△1.7	40,583	△3.0	24,747	7.5

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 42,285百万円 (△27.4%) 25年12月期第3四半期 58,262百万円 (122.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	120.95	—
25年12月期第3四半期	94.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	891,814	388,069	40.1	1,362.70
25年12月期	867,464	358,844	38.0	1,257.26

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 357,469百万円 25年12月期 329,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	15.00	—	25.00	40.00
26年12月期	—	20.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	840,000	7.6	84,000	9.0	81,000	8.6	49,000	9.4	186.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 、 除外 1社 (社名)

Sumitomo Rubber AKO Lastik Sanayi ve Ticaret A.S.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期3Q	263,043,057 株	25年12月期	263,043,057 株
26年12月期3Q	718,991 株	25年12月期	715,318 株
26年12月期3Q	262,325,841 株	25年12月期3Q	262,330,980 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社及び当社グループの事業をとりまく様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おください。

なお、上記予想の前提条件その他の関連する事項については、四半期決算短信、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社の連結財務諸表に記載される科目及びその他の事項の金額は、従来、表示単位未満を切り捨てて記載しておりましたが、当連結会計年度より表示単位未満を四捨五入して記載しております。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度についても四捨五入に組み替えて表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減率
	百万円	百万円	%
売上高	575,832	531,986	8.2
タイヤ事業	500,701	460,884	8.6
スポーツ事業	49,554	47,518	4.3
産製品他事業	25,577	23,584	8.5
営業利益	49,068	42,964	14.2
タイヤ事業	44,138	38,521	14.6
スポーツ事業	1,827	2,501	△26.9
産製品他事業	3,091	1,935	59.7
調整額	12	7	—
経常利益	51,627	40,583	27.2
四半期純利益	31,728	24,747	28.2

為替レートの前提

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減
1米ドル当たり	103円	97円	6円
1ユーロ当たり	140円	127円	13円

当第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日～平成26年9月30日）の世界経済は、米国では緩やかな景気回復が持続しているものの、欧州ではこのところ景気回復に足踏み状態が見られるようになりました。新興諸国においては中国の経済成長が鈍化し、アセアン地域やロシアなどにおいても経済が低迷するなど、世界経済全体としては地政学的なリスクの顕在化などのさまざまな要因により、停滞感が増してきました。

わが国経済につきましても、4月からの消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が足元でも続いており、弱さが見られるようになりました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、天然ゴム相場が引き続き低位で安定的に推移したことに加えて、為替の円安による輸出環境の改善がありました。海外市販市場における競合他社との競争が激化するなど、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、2020年を目標年度とする長期ビジョン「VISION 2020」の実現を目指し、事業の成長と収益力の向上に向けて様々な対策に取り組みました。

この結果、当社グループの連結売上高は575,832百万円（前年同期比8.2%増）、連結営業利益は49,068百万円（前年同期比14.2%増）、連結経常利益は51,627百万円（前年同期比27.2%増）、連結四半期純利益は31,728百万円（前年同期比28.2%増）と、増収増益を達成しました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(タイヤ事業)

タイヤ事業の売上高は、500,701百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は44,138百万円（前年同期比14.6%増）となりました。

国内市販用タイヤは、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が発生し、業界需要が前年同期を上回るなか、その需要を取り込んで販売を伸ばしました。ダンロップブランドで低燃費性能に「長持ち」という新たな価値を加えた、第2世代のスタンダード低燃費タイヤ「エナセーブ EC203」を発売し、順調に販売を拡大するなど、販売構成の改善に努めたことにより、売上高は前年同期を上回りました。

国内新車用タイヤについては、自動車生産台数が前年同期を上回るなか、低燃費タイヤを中心とする高付加価値タイヤの納入拡大により販売数量が増加したため、売上高は前年同期を上回りました。

海外市販用タイヤは、各国市場において販売を伸ばしましたが、競合他社との価格競争が激化しており、金額面では厳しい状況で推移しました。一方で、為替は円安で推移したため、売上高は前年同期を上回りました。

海外新車用タイヤでは、生産拠点を有するタイは政情不安などによる景気の低迷により販売数量が減少しましたが、拡大を続ける中国市場においては大幅に販売を伸ばしたため、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、タイヤ事業の売上高は前年同期を上回りました。

(スポーツ事業)

スポーツ事業の売上高は、49,554百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は1,827百万円（前年同期比26.9%減）となりました。

国内市場は、2月の降雪や夏場の大雨などの天候要因に加え、消費税率引き上げの影響などにより市況が低迷し、厳しい状況で推移しました。海外市場においても、悪天候などの影響により米国市場が前年同期を下回ったほか、東南アジア諸国や韓国の市況にも停滞感が広がるなど、厳しい状況で推移しました。

このようななか、国内市場においては、昨年12月に発売しました「ゼクシオ エイト」が発売以来10カ月連続で金額シェアNo.1※となったほか、9月に発売しました「スリクソンNEW Z（ゼット）シリーズ」ゴルフクラブが好調なスタートを切りました。また、昨年に業務提携契約を結んだ株式会社アシックス製のゴルフシューズ販売も好調に推移したため、国内販売は前年同期を上回りました。

海外市場においては、「ゼクシオ エイト」の販売を米国などでも開始し、拡販に努めましたが、世界的な市況の冷え込みにより海外販売は前年同期を下回りました。

以上の結果、スポーツ事業の売上高は前年同期を上回りました。

※株式会社矢野経済研究所調べによる金額シェア

(産業品他事業)

産業品他事業の売上高は、25,577百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益は3,091百万円（前年同期比59.7%増）となりました。

生活用品の保冷具やスロープは、市況や天候の影響により低調に推移しましたが、スポーツ専用ロングパイル人工芝「ハイブリッドターフ」の販売が堅調に推移し、全体を牽引しました。

以上の結果、産業品他事業の売上高は前年同期を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

	当第3四半期 連結会計期間	前連結会計年度	増減
	百万円	百万円	百万円
総資産	891,814	867,464	24,350
純資産	388,069	358,844	29,225
(うち自己資本)	(357,469)	(329,813)	(27,656)
自己資本比率(%)	40.1%	38.0%	2.1P
1株当たり純資産	1,362円70銭	1,257円26銭	105円44銭

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

資産の部は、季節要因などによる棚卸資産の増加や、設備投資に伴う有形固定資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べて24,350百万円増加し、891,814百万円となりました。

負債の部は、仕入債務の減少などにより、前連結会計年度末に比べて4,875百万円減少し、503,745百万円となりました。

純資産の部は、配当金の支払いの一方、円安による為替換算調整勘定の増加や、四半期純利益31,728百万円の計上などにより、前連結会計年度末に比べて29,225百万円増加し、388,069百万円となりました。その結果、自己資本比率は40.1%となり、前連結会計年度末に比べて2.1ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の通期連結業績の見通しにつきましては、平成26年8月7日に公表しました業績予想から変更ありません。

なお、当期における実際の業績につきましては、当社及び当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、原材料価格の変動、為替レートの変動など様々な要因により、本資料発表日現在の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
第1四半期連結会計期間において増資したことにより、Sumitomo Rubber AKO Lastik Sanayi ve Ticaret A.Ş. は特定子会社となりました。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,441	49,134
受取手形及び売掛金	198,189	172,313
商品及び製品	79,834	100,556
仕掛品	6,159	6,171
原材料及び貯蔵品	44,433	43,643
その他	38,372	39,179
貸倒引当金	△1,945	△1,850
流動資産合計	407,483	409,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	89,855	94,100
機械装置及び運搬具(純額)	132,242	139,186
その他(純額)	94,878	102,291
有形固定資産合計	316,975	335,577
無形固定資産		
のれん	8,827	7,691
その他	18,056	19,095
無形固定資産合計	26,883	26,786
投資その他の資産		
投資有価証券	69,589	72,932
その他	47,499	48,328
貸倒引当金	△965	△955
投資その他の資産合計	116,123	120,305
固定資産合計	459,981	482,668
資産合計	867,464	891,814
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	76,741	66,408
1年内償還予定の社債	20,000	-
コマーシャル・ペーパー	11,000	18,000
短期借入金	78,719	74,954
1年内返済予定の長期借入金	37,339	39,507
未払法人税等	10,437	5,168
引当金	7,581	11,947
その他	71,369	63,167
流動負債合計	313,186	279,151
固定負債		
社債	45,000	65,000
長期借入金	104,588	111,424
退職給付引当金	13,959	14,373
その他の引当金	112	116
その他	31,775	33,681
固定負債合計	195,434	224,594
負債合計	508,620	503,745

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,658	42,658
資本剰余金	38,661	38,661
利益剰余金	224,681	244,518
自己株式	△551	△556
株主資本合計	305,449	325,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,521	12,096
繰延ヘッジ損益	164	205
為替換算調整勘定	31,677	36,924
在外関係会社の年金債務調整額	△18,998	△17,037
その他の包括利益累計額合計	24,364	32,188
少数株主持分	29,031	30,600
純資産合計	358,844	388,069
負債純資産合計	867,464	891,814

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	531,986	575,832
売上原価	337,938	358,592
売上総利益	194,048	217,240
販売費及び一般管理費	151,084	168,172
営業利益	42,964	49,068
営業外収益		
受取利息	744	1,121
受取配当金	273	402
持分法による投資利益	—	5,119
デリバティブ評価益	2,027	1,417
その他	1,656	1,984
営業外収益合計	4,700	10,043
営業外費用		
支払利息	3,690	3,465
為替差損	1,789	2,512
持分法による投資損失	172	—
その他	1,430	1,507
営業外費用合計	7,081	7,484
経常利益	40,583	51,627
特別利益		
固定資産売却益	607	—
特別利益合計	607	—
特別損失		
固定資産除売却損	421	530
減損損失	98	22
関係会社株式売却損	309	—
特別損失合計	828	552
税金等調整前四半期純利益	40,362	51,075
法人税等	13,725	16,814
少数株主損益調整前四半期純利益	26,637	34,261
少数株主利益	1,890	2,533
四半期純利益	24,747	31,728

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	26,637	34,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,484	561
繰延ヘッジ損益	△160	41
為替換算調整勘定	21,917	7,052
在外関係会社の年金債務調整額	57	43
持分法適用会社に対する持分相当額	4,327	327
その他の包括利益合計	31,625	8,024
四半期包括利益	58,262	42,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,206	39,552
少数株主に係る四半期包括利益	3,056	2,733

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	タイヤ	スポーツ	産業品他			
売上高						
外部顧客への売上高	460,884	47,518	23,584	531,986	—	531,986
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	237	69	317	△317	—
計	460,895	47,755	23,653	532,303	△317	531,986
セグメント利益	38,521	2,501	1,935	42,957	7	42,964

(注) 1. セグメント利益の調整額7百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	タイヤ	スポーツ	産業品他			
売上高						
外部顧客への売上高	500,701	49,554	25,577	575,832	—	575,832
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	202	12	226	△226	—
計	500,713	49,756	25,589	576,058	△226	575,832
セグメント利益	44,138	1,827	3,091	49,056	12	49,068

(注) 1. セグメント利益の調整額12百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。